

特許情報の普及・活用に関する 特許庁の取組

2022年11月

特許庁 特許情報室

室長 永野 志保



特許庁

1 特許情報の普及・活用施策の概要

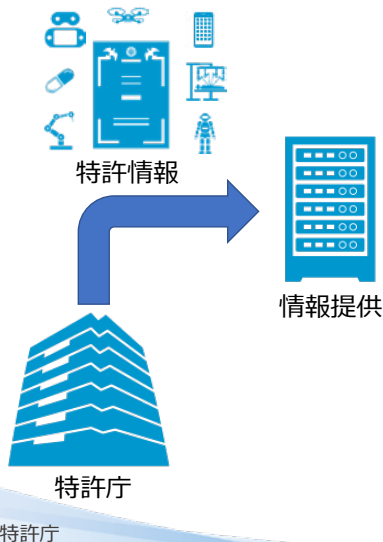
2 J-PlatPatの更新予定

3 特許情報取得APIの活用

4 機械翻訳による翻訳文提供

特許情報の意義

- 特許情報の活用により産業の発達が期待される。
 ※特許情報：（特許、実用新案、意匠、商標に関する情報）



産業財産権法の目的

特 許	発明を奨励し、産業の発達に寄与
実用新案	考案を奨励し、産業の発達に寄与
意 匠	意匠の創作を奨励し、産業の発達に寄与
商 標	商標の保護により、商標の使用上の信用の維持を図り、産業の発達に寄与し、あわせて需要者の利益を保護

特許情報普及施策に関する議論

- 産業財産権情報利用推進委員会（長官私的懇談会）報告（平成15年3月）
 国と民間とのベストミックスで一般ユーザーの多様なニーズに応えていく

国の役割

正確で基本的な一次情報の提供

民間の役割

一次情報に高い付加価値をつけた情報の提供

- 産業構造審議会 知的財産分科会 情報普及活用小委員会（平成28年5月）

我が国ユーザーが享受するサービスの質が全体として世界最高水準となるように特許情報サービスを提供していき、特許情報を広く普及していくための基盤を引き続き整備していくべき

考慮要素

グローバル化、ITの進展
 海外庁のサービスの状況
 民間事業者のサービスの状況
 我が国ユーザーの要望

環境整備の方向性

特に中小企業等が
 容易に特許情報等を利用できるようにする
 海外庁の審査官が
 我が国審査結果を参酌しやすくする

国と民間事業者の役割

【国】

- 正確で基本的な一次情報を提供 (①)
- サービスの質が世界最高水準となるように特許情報サービス（政策的に実施するサービス）を提供 (③)

➡ 一次情報のメンテナンス・充実化等の基盤整備を実施

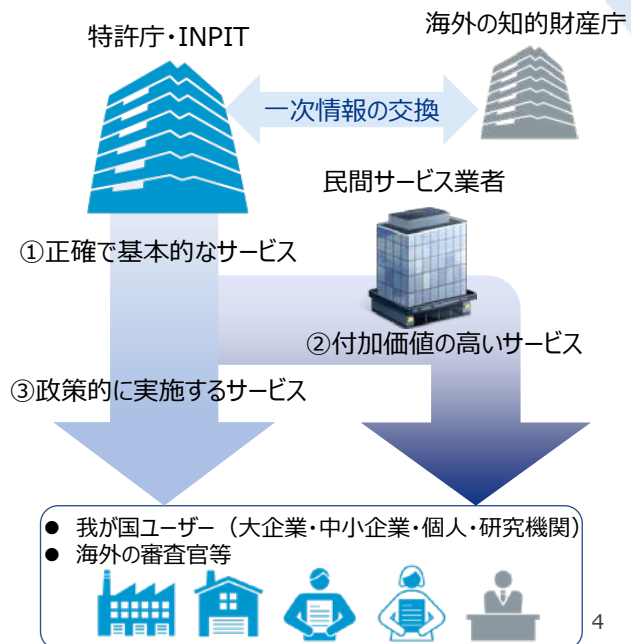
【民間】

- 国が提供する一次情報に高い付加価値をつけた情報を提供 (②)

【ユーザー】

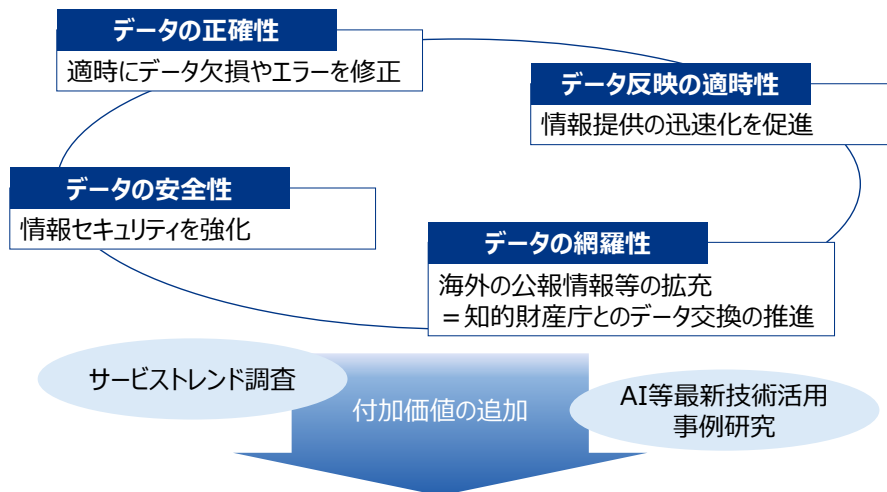
- 世界最高レベルのサービスを楽しむ特許情報を活用

特許庁



正確な一次情報を提供するために

- 一次情報は、次の4つの観点で整備する必要がある。



- 正確で基本的な一次情報の確実な提供
- 民間事業者が付加価値の高いサービスを提供するための環境整備

特許庁

5

1 特許情報の普及・活用施策の概要

2 J-PlatPatの更新予定

3 特許情報取得APIの活用

4 機械翻訳による翻訳文提供

J-PlatPatの概要

- J-PlatPatは、インターネットで利用できる無料のデータベース



<沿革>

- ◆ 平成11年に特許電子図書館（IPDL）としてサービス開始
- ◆ 平成27年3月にJ-PlatPatとしてリニューアル
- ◆ 令和元年5月にユーザーインターフェースを刷新・機能を改善

<機能概要>

- ◆ 約1億5000万件の国内外の公報を収録（特許、実用新案、意匠、商標）
- ◆ 文献番号、キーワード等により検索可能
- ◆ 直感的に使いやすい簡易なユーザーインターフェースを採用
- ◆ 審査・審判関係の書類や経過情報を迅速に提供（原則受理・発出の翌営業日）

J-PlatPatの更新予定

通信状況に応じたアクセス制限

- J-PlatPatの更なる安定稼働を図るため、セキュリティ対策の強化を実施。
→ロボットアクセス（プログラムによる定期的な自動データ収集）への対応（従前よりも認証機会が増える可能性あり。）

CSV出力機能の拡張

- 検索結果を3000件までCSV出力する手段を提供（令和4年度末リリース予定）

リーガルステータスの表示

- 特許について、出願の状態を表示する機能を追加（令和5年度リリース予定）

J-PlatPatにおける検索結果のCSV出力方法の変更

- 特許の検索結果のCSV出力の方法を2種類として選択可能に（利用登録制は継続）

① 現行の出力方法

文献番号	出願番号	出願日	公知日	発明の名称	出願人権利者	FI	要約	公開番号	公告番号	登録番号	審判番号	その他	文献URL
500件までCSVファイルで出力可能													

② 追加される出力方法

文献番号	出願番号	出願日	公知日	発明の名称	出願人権利者	FI	要約	公開番号	公告番号	登録番号	審判番号	その他	文献URL
3000件までCSVファイルで出力可能													
								要約は出力項目から除外					

- 追加される表示形式のCSVでは、項目を削減
- 統計処理や調査メモ等への活用を期待

IP5（五大特許庁）の取り組み：グローバルDシエ優先五項目

➤ 産業界の要請を受け、複数庁への一括手続をグローバルDシエにおける最終的な目標として、当面、IP5が優先的に取り組む事項として優先五項目が策定された。

五庁への一連の出願について、法的な状態を提供。

リーガルステータス

出願・手続・審査書類のXML化

出願人名称の統一

優先五項目

五庁への一連の出願に関して、出願・審査情報の更新を知らせる

アラート機能

特許庁間での書類共有

特許庁
10

J-PlatPatにおけるリーガルステータス表示（特許）

➤ WIPO標準ST27に基づいて特許のステータスを表示することを検討中

<参考> J-PlatPatにおける商標の結果一覧（ステータス表示あり）

No.	出願番号/ 登録番号/ 国際登録番号 ▲	商標見本	商標 (検索用)	称呼 (参考情報)	区分	出願人/ 権利者/ 名義人	出願日/ 国際登録日 ▲ (事後指定日)	登録日 ▲	ステータス ▲	各種機能
1	登録6488322 (商願2020-159419)		I-OPEN	アイオープン、オープン	09 16 35 ...	特許庁長官	2020/12/24	2021/12/20	 存続-登録-継続	経過情報 公報表示 URL

<参考> 表示変更イメージ

ステータス

No.	文献番号 ▲	出願番号 ▲	出願日 ▲	公知日 ▼	発明の名称 ▲	出願人/権利者	FI	各種機能
1	特許6691280	特願2020-008423	2020/01/22	2020/04/28	管理システム及び管理方法	特許庁長官	G06F16/31 G06Q50/18, 310 G06F16/00	経過情報 OPD URL

➤ 出願手続の状態（審査中等）を表示する予定

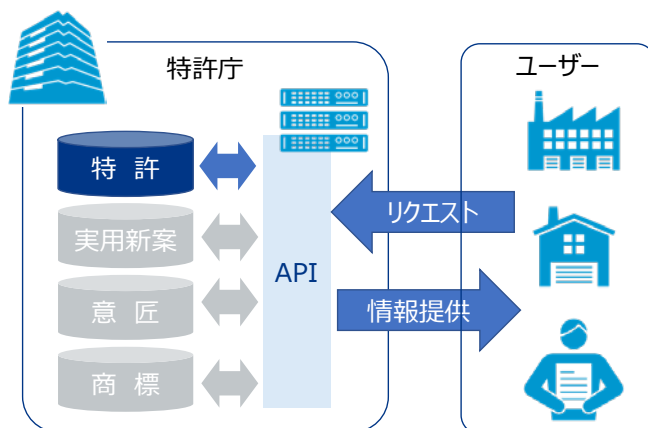
➤ リーガルステータスで検索範囲を絞る機能を設ける予定

特許庁
11

- 1 特許情報の普及・活用施策の概要
- 2 J-PlatPatの更新予定
- 3 特許情報取得APIの活用
- 4 機械翻訳による翻訳文提供

特許情報取得APIの試行提供 (令和4年1月から開始)

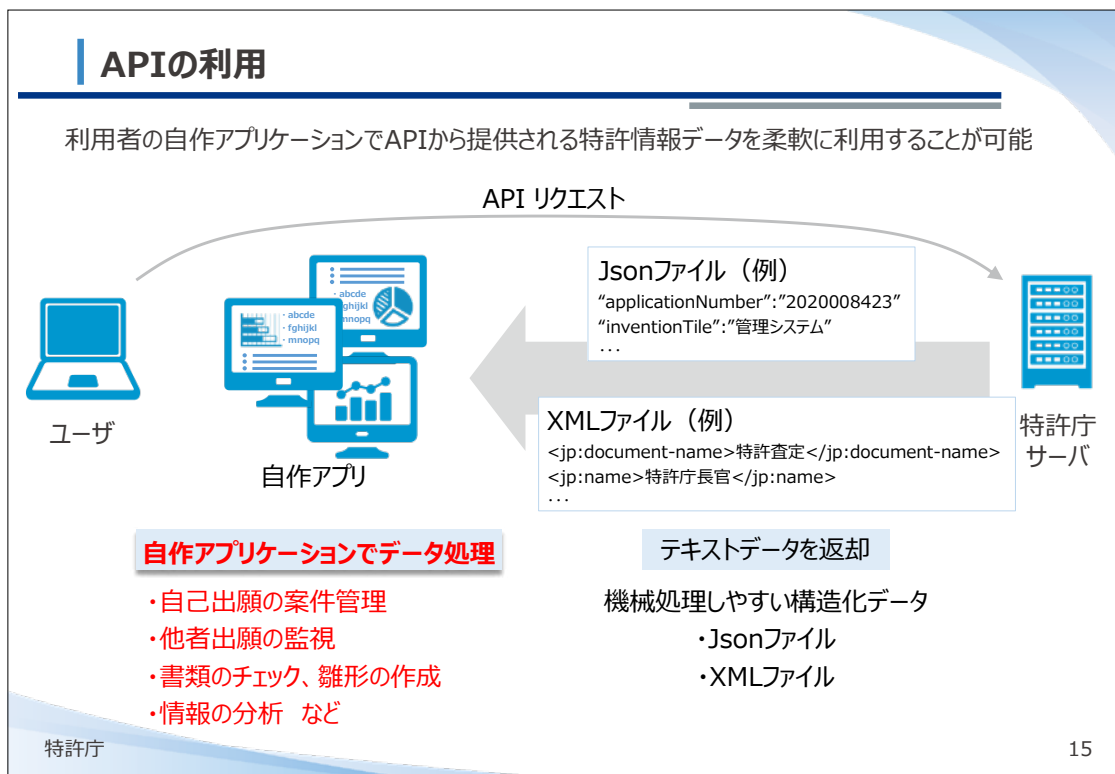
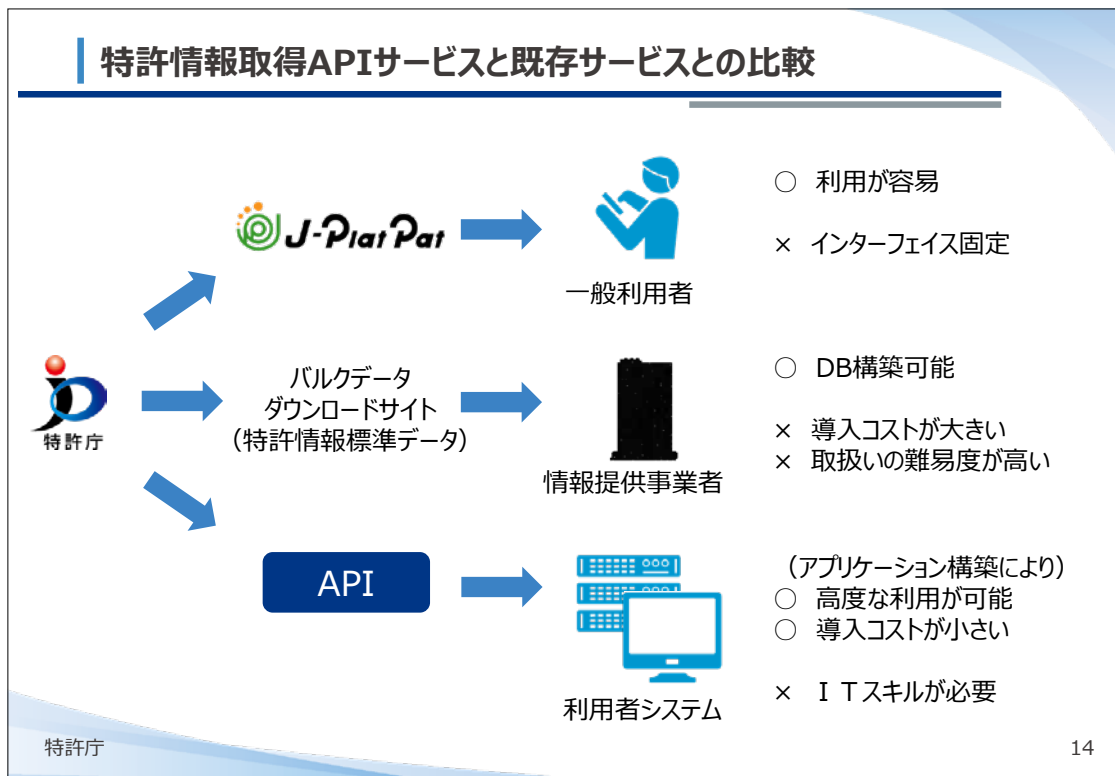
➤ 「特許」の情報に限定してAPI提供を試行



APIの種類

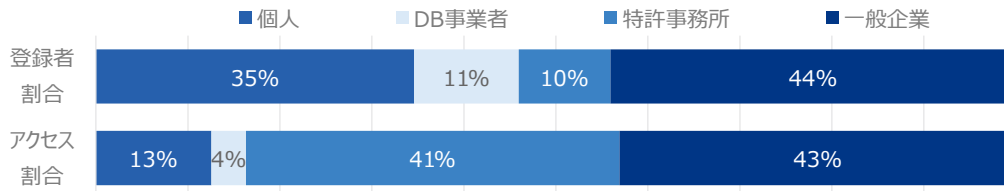
- ◆ 特許経過情報
- ◆ シンプル版特許経過情報
- ◆ 特許分割出願情報
- ◆ 特許優先基礎出願情報
- ◆ 特許申請人氏名・名称
- ◆ 特許申請人コード
- ◆ 特許番号参照
- ◆ 特許申請書類
- ◆ 特許発送書類
- ◆ 特許拒絶理由通知書
- ◆ 特許引用文献情報
- ◆ 特許登録情報

- 利用登録制（利用者（原則として法人単位）につき1IDを付与）
- APIごとにアクセス上限値を設定
- 利用者の事情に応じてアクセス制限を緩和

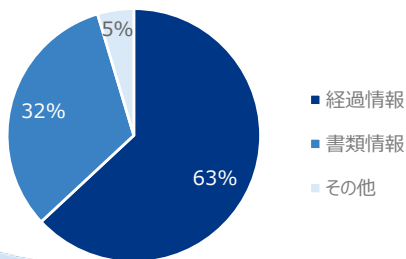


特許情報取得APIの利用状況 (令和4年1月-6月)

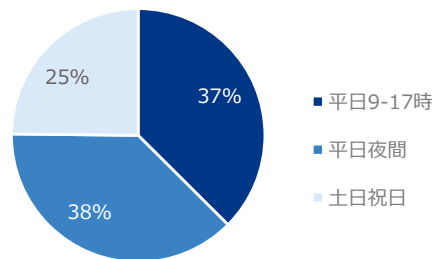
➤ 一般企業や個人の利用登録が多いが、特許事務所からのアクセスも多い



➤ 経過情報へのアクセスが多い



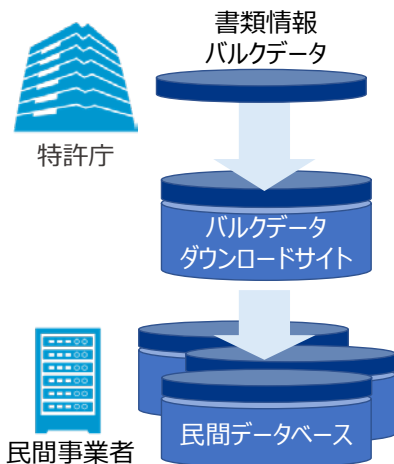
➤ 夜間や休日でのアクセスも多い



特許情報サービス事業者によるAPI活用への期待

➤ APIを利用することで民間事業者のデータベースの運用コストが下がる可能性がある。

バルクデータによるサービス提供



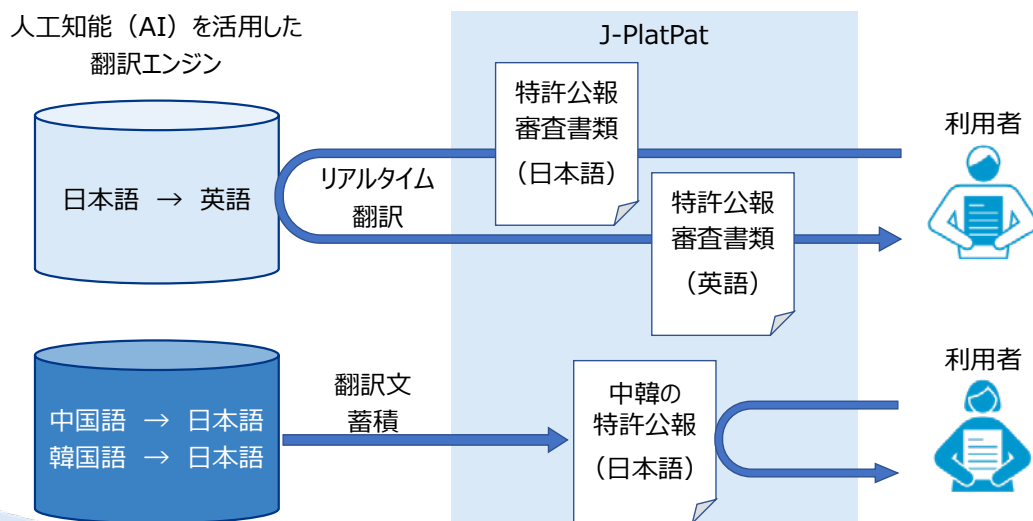
APIによるサービス提供



- 1 特許情報の普及・活用施策の概要
- 2 J-PlatPatの更新予定
- 3 特許情報取得APIの活用
- 4 機械翻訳による翻訳文提供

機械翻訳を活用した特許情報の提供

- 最新の機械翻訳技術を活用して高品質な翻訳文を提供



機械翻訳に関する調査

令和3年度の調査報告

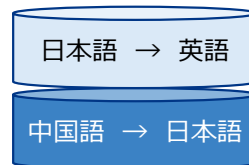
- 審査書類・審決の機械翻訳精度の調査・分析
(日本語 - 英語の対訳コーパスを200万作成)
- 中国審決の機械翻訳精度の調査・分析
(中国語 - 日本語の対訳コーパスを200万作成)
- 機械翻訳プラットフォームの中日翻訳における
未知語選定等に関する調査研究
(中国語 - 日本語の対訳コーパスを6,000作成)

対訳コーパスの作成
↓
翻訳エンジンの翻訳精度検証

未知語^(※)を調査
↓
未知語からコーパスを作成

(※) 機械翻訳できずに原語が残る単語

作成されたコーパスは、
翻訳エンジンに学習させることで、
翻訳品質の改善に活用



特許庁で利用する翻訳エンジン

FOPISERによる中国審決の提供

- 中国の特許・実用新案に関する審決の和訳を提供
 - 機械翻訳の活用により検索・照会可能な範囲を大幅に拡大予定
 - 進歩性の判断傾向など、中国審決の分析に利用可能

外国特許情報サービス (FOPISER)

日本語テキスト等で
中国審決を検索

中国審決の
翻訳文



-JPO-

ありがとうございました

特許庁 特許情報室

